

# 平成26年度補正予算案及び 平成27年度予算案の宇宙関係予算について (省庁別集計)

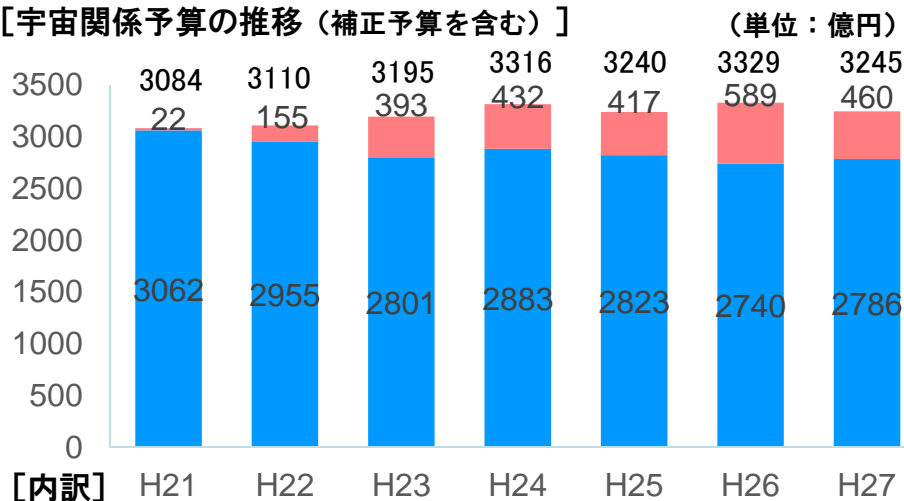
平 成 2 7 年 2 月  
内 閣 府 宇 宙 戦 略 室

# 1. 平成26年度補正予算案及び平成27年度予算案における宇宙関係予算について

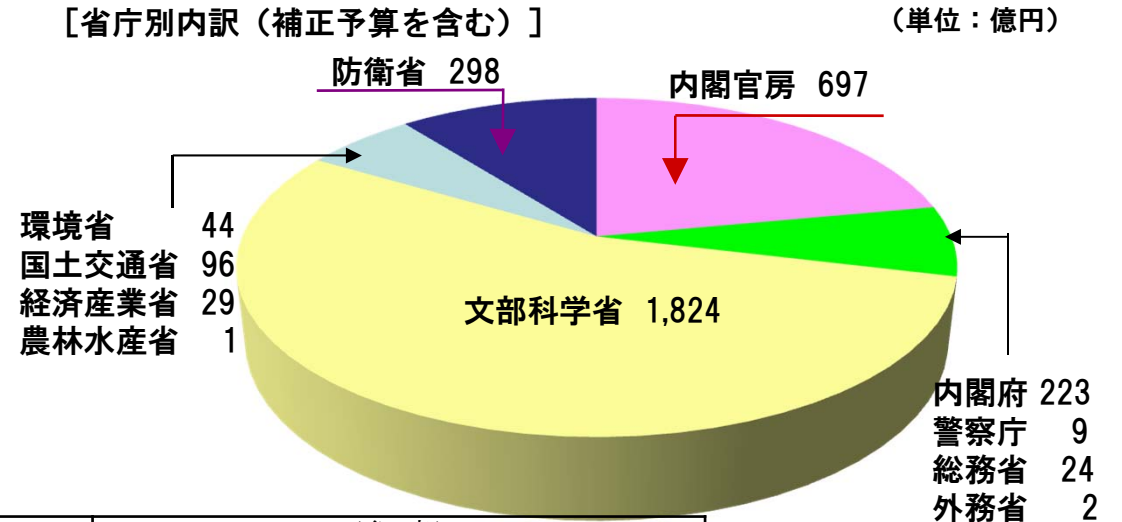
[全府省]

平成26年度補正予算案	460億円
平成27年度予算案総額	2,786億円 (対前年度当初予算比46億円増(1.7%増))
平成26年度補正予算案+平成27年度予算案	3,245億円 (対前年度当初予算比506億円増(18.5%増))

[宇宙関係予算の推移(補正予算を含む)]



[省庁別内訳(補正予算を含む)]



[内訳]

府省名	平成26年度 当初予算額①	平成26年度 補正予算案②	平成27年度 予算案③	対前年度増▲減 (増▲減比)③-①		(参考)	
				増▲減	比	平成26年度補正予算案+ 平成27年度予算案④=②+ ③	対前年度増▲減 (増▲減比)④-①
内閣官房	610	83	614	4	(0.7%)	697	87 (14.3%)
内閣府	132	70	152	20	(15.0%)	223	90 (68.2%)
警察庁	8		9	1	(9.1%)	9	1 (9.1%)
総務省	26		24	▲1	(▲5.0%)	24	▲1 (▲5.0%)
外務省	2		2	▲0	(▲11.9%)	2	▲0 (▲11.9%)
文部科学省	1,529	299	1,524	▲5	(▲0.3%)	1,824	295 (19.3%)
農林水産省	2		1	▲1	(▲39.2%)	1	▲1 (▲39.2%)
経済産業省	22		29	8	(34.6%)	29	8 (34.6%)
国土交通省	95	2	94	▲0	(▲0.4%)	96	1 (1.2%)
環境省	39	4	40	1	(2.4%)	44	5 (12.7%)
防衛省	276	1	296	20	(7.2%)	298	21 (7.7%)
合計(注1)	2,740	460	2,786	46	(1.7%)	3,245	506 (18.5%)
参考値(注2)	3,242	460	3,054	▲188	(▲5.8%)	3,514	272 (8.4%)

(注1)弾道ミサイル防衛関連経費(防衛省)、航空関連経費(文部科学省)を除いている。

(注2)弾道ミサイル防衛関連経費(防衛省)、航空関連経費(文部科学省)を含めた場合。 2

(注)四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

## 2. 宇宙開発利用関係予算

(単位:百万円)

府省名	施策名	平成26年度 当初予算 (①)	平成26年度 補正予算	平成27年度 政府予算案 (②)	対前年度 当初予算 (③=②-①)	対前年度 当初予算比 (③/①)	事業内容	備考
	宇宙関係経費	273,963	45,963	278,565	4,602	(1.7%)		
	内閣官房	60,962	8,309	61,370	409	0.7%		
	情報収集衛星関係経費	60,951	8,309	61,360	409	0.7%	情報収集衛星の開発・運用	
	宇宙開発戦略本部事務費	11		11	0	0.1%	宇宙開発戦略本部事務局の運営に必要な経費	
	内閣府	13,248	7,044	15,240	1,993	15.0%		
	中央防災無線網の整備・維持管理等	299	164	203	▲ 96	▲ 32.1%	可搬型衛星通信設備の整備、衛星通信回線の使用料及び衛星通信地球局(固定型)の整備	
	準天頂衛星システムの開発・整備・運用	12,499		14,622	2,124	17.0%		
	実用準天頂衛星運用経費	291		326	35	12.0%	衛星の運用に必要な事務費	
	実用準天頂衛星開発・整備経費	9,208		12,297	3,089	33.5%	実用準天頂衛星追加3機分の開発費	
	実用準天頂衛星打上げ経費	3,000		2,000	▲ 1,000	▲ 33.3%	実用準天頂衛星の打ち上げ費	
	準天頂衛星システム整備による防災・減殺の取組強化	0	6,880	0	-		実用準天頂衛星追加3機分の開発・整備費	
	宇宙開発利用の推進	450		415	▲ 35	▲ 7.8%	宇宙開発利用に関する施策の推進に必要な一般事務費	
	宇宙利用拡大の調査研究	93		302	209	225.3%	宇宙利用拡大を図るための施策の策定を重点的に行うため、民間事業者の能力を活用して、諸外国における宇宙政策の動向、防災対策に関するニーズ、国内での衛星データ利用拡大方策等の調査・分析	
	広域災害監視衛星ネットワーク関係調査事業	250		0	▲ 250	▲ 100.0%	防災等のためのリモートセンシング衛星の複数機の一体的な整備・運用に関し、関係行政機関や民間事業者等のユーザーニーズの抽出及びそれを満たす衛星システムの具体的仕様を検討するための調査等を実施	宇宙利用拡大の調査研究に続合
	宇宙開発利用政策事務費	107		113	6	5.4%	宇宙戦略室の運営等に必要な経費	
	警察庁	786		858	72	9.1%		
	高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	786		858	72	9.1%		
	高解像度衛星画像解析システムの運用	256		256	0	0.0%	衛星画像供給業者より購入した衛星画像を解析し、警察活動に活用	
	通信衛星の使用	489		556	67	13.8%	衛星情報接続サービスを利用して現場映像等を警察活動に活用	
	政府間端末等の運用	41		46	5	11.2%	情報収集衛星の利用その他の手段により得られる画像分析を行うための機器・設備の保守	

府省名	施策名	平成26年度 当初予算 (①)	平成26年度 補正予算	平成27年度 政府予算案 (②)	対前年度 当初予算 (③=②-①)	対前年度 当初予算比 (③/①)	事業内容	備考
総務省		2,551		2,422	▲ 129	▲ 5.0%		
	準天頂衛星時刻管理系設備の運用	77		64	▲ 13	▲ 17.1%	研究開発を進めてきた準天頂衛星初号機「みちびき」の時刻管理系の実証運用	
	宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,002		1,962	▲ 40	▲ 2.0%	独立行政法人情報通信研究機構(NICT)の宇宙通信分野の基礎的研究開発	
	海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	100		81	▲ 19	▲ 19.0%	海洋資源の調査を効率化するため、通信衛星を活用して洋上のブロードバンド環境(10Mbps級)を構築するための次世代通信衛星技術の研究開発を実施	
	次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	347		290	▲ 57	▲ 16.3%	宇宙環境下でのアンテナの変形に伴う地上ビームの変形を補正し、効率的なビーム形状を安定的に保持する技術を確立することにより、周波数の有効利用に資する研究開発を実施	
	全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	8		8	0	0.0%	全国瞬時警報システムの情報伝達における衛星回線の利用	
	地域衛星通信ネットワークの利用	18		18	0	0.0%	災害時に国と地方公共団体及び地方公共団体間を結ぶ通信ネットワーク	
外務省		179		158	▲ 21	▲ 11.9%		
	衛星画像判読分析支援	164		144	▲ 21	▲ 12.6%	衛星画像情報を活用するための設備・機材の調達・保守、及び関連データ収集等	
	宇宙外交推進費	15		14	▲ 1	▲ 4.0%	「宇宙外交」を推進するための会議費及び旅費	
文部科学省		152,893	29,932	152,414	▲ 479	▲ 0.3%		
	JAXA 運営費交付金(自己収入額控除後)	108,873		111,212	2,339	2.1%		
	1. 基幹システム関連経費	23,615		28,876	5,261	22.3%		
	イプシロンロケット	900		0	▲ 900	▲ 100.0%	イプシロンロケットの開発と打上げ関連設備の整備	
	新型基幹ロケット	7,000		12,545	5,545	79.2%	新型基幹ロケットの開発と打上げ関連設備の整備	
	宇宙ステーション補給システムへの回収機能の付加(HTV-R)	46		0	▲ 46	▲ 100.0%	HTVに回収機能を付加し、有人宇宙活動につながる基礎技術実証	
	基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修	200		50	▲ 150	▲ 75.0%	衛星2機をそれぞれ異なる高度の軌道(主に太陽同期軌道)に打ち上げる技術の開発	
	基幹システムの維持 等	15,469		16,281	812	5.2%	打上げ射場設備等の維持運用、地上局の維持運用、ロケット製作用関連設備等の維持運用、追跡ネットワーク維持、環境試験設備維持 等	
	2. 宇宙環境利用関連経費	3,236		2,866	▲ 370	▲ 11.4%	日本実験棟「きぼう」を利用した宇宙実験の実施や宇宙医学研究等の推進、宇宙環境利用研究の推進、第2期利用に向けた実験装置開発・実験準備 等	

府省名	施策名	平成26年度 当初予算 (①)	平成26年度 補正予算	平成27年度 政府予算案 (②)	対前年度 当初予算 (③=②-①)	対前年度 当初予算比 (③/①)	事業内容	備考
	3. 衛星利用推進関連経費	6,295		13,848	7,553	120.0%		
	次世代情報通信衛星の技術検証	43		43	0	0.0%	「災害時の通信の確保」というニーズに応える次世代情報通信衛星の技術検証	
	軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分) (DRTS、ETS-VIII、WINDS)	1,268		1,213	▲ 55	▲ 4.3%	通信衛星の運用	
	準天頂衛星の運用	808		808	0	0.0%	準天頂衛星初号機「みちびき」の運用	
	利用推進関連設備の維持 等	3,483		3,452	▲ 30	▲ 0.9%	地球観測データ総合管理・提供システムの運用・更新及び地球観測データ通信局(鳩山)の維持・運営、地球観測データ利用促進関連経費 等	
	超低高度衛星技術試験機(SLATS)	569		0	▲ 569	▲ 100.0%	超低高度軌道からの観測を実証するSLATSと地上システムの開発	
	赤外線センサの研究	48		48	0	0.0%	赤外線検出器の高度化に資する研究	
	災害観測・監視システムの整備 等	78		78	0	0.0%		
	先進光学衛星	0		5,060	5,060	-	広域かつ高分解能撮像が可能な光学センサを搭載した先進光学衛星の開発	新規
	光データ中継衛星	0		3,148	3,148	-	光衛星間通信技術を用いた光データ中継衛星の開発	新規
	4. 技術研究関連経費	9,265		8,945	▲ 320	▲ 3.5%		
	宇宙太陽光発電技術の研究	300		300	0	0.0%	宇宙太陽発電システム(SSPS)の実用化に向けた地上技術実証	
	スペースデブリ対策技術の研究	298		298	0	0.0%	スペースデブリ対策技術の研究	
	デブリ除去システム技術実証	70	823	0	▲ 70	▲ 100.0%	HTVIに搭載してデブリ除去のキー要素技術実証を実施	
	将来研究(先行・萌芽、将来輸送系、共通基盤技術)	1,069		819	▲ 250	▲ 23.4%	共通基盤技術等の研究開発	
	基礎・基盤施設維持運営費	4,448		4,448	0	0.0%	三鷹・調布地区、筑波地区、角田地区の基盤施設の維持	
	情報システム関連	3,081		3,081	0	0.0%	スパコン等の維持、情報技術関連の技術開発	
	5. 宇宙科学関連経費	19,433		20,433	1,000	5.1%		
	水星探査計画(BepiColombo)	541		285	▲ 256	▲ 47.3%	水星探査計画に係る探査機等の開発経費	
	ジオスペース探査衛星(ERG)	2,601		2,037	▲ 564	▲ 21.7%	ジオスペース探査衛星(ERG)の開発経費	
	X線天文衛星(ASTRO-H)	9,535		11,432	1,897	19.9%	X線天文衛星「ASTRO-H」の開発経費	
	軌道上衛星の運用(科学衛星)	1,568		1,568	0	0.0%	軌道上にある科学衛星や探査機等の運用経費	
	学術研究・実験 等	3,179		3,101	▲ 77	▲ 2.4%	研究者の自由な発想による学術研究、基礎的研究開発等を実施するための経費	
	宇宙科学施設維持	2,009		2,009	0	0.0%	研究観測設備維持、相模原キャンパス施設維持、科学衛星データ利用経費 等	
	6. 国際宇宙探査関連経費	0		405	405	-	国際宇宙探査に向けた技術研究や海外機関との調整等を実施	新規
	7. 月・惑星探査関連経費	12,899		238	▲ 12,661	▲ 98.2%		
	小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	12,564		238	▲ 12,326	▲ 98.1%	小惑星探査機「はやぶさ2」の運用経費	
	月・探査ミッション研究・推進	335		0	▲ 335	▲ 100.0%		
	8. 信頼性向上プログラム	5,147	1,835	5,346	199	3.9%	ロケット・衛星に係る総合的技術力を継続的に発展・維持向上させるための取組	

府省名	施策名	平成26年度 当初予算 (①)	平成26年度 補正予算	平成27年度 政府予算案 (②)	対前年度 当初予算 (③=②-①)	対前年度 当初予算比 (③/①)	事業内容	備考
	9. 産業振興・宇宙技術基盤の強化	1,120		2,040	920	82.1%		
	産業振興基盤の強化	1,120		1,120	0	0.0%	知的資産の外部提供や外部リソースの積極的活用、国内需要の開拓や海外需要獲得	
	革新的衛星技術実証プログラム	0	120	920	920	-	宇宙利用・宇宙産業の抜本的拡大及びイノベーション創出のための取組	新規
	10. 国際協力の推進	614		614	0	0.0%	APRSAFの主催、センチネルアジアの推進等の国際協力の構築や海外の情報収集分析	
	11. 事業推進関連経費	6,559		6,759	200	3.0%		
	12. 人件費・間接経費等	20,689		20,841	152	0.7%	自己収入を含む	
	<b>JAXA 補助金</b>	42,320		39,596	▲ 2,724	▲ 6.4%		
	1. 宇宙ステーション運用等	32,486		30,236	▲ 2,250	▲ 6.9%		
	日本実験棟(JEM)運用等	8,989		8,959	▲ 30	▲ 0.3%	日本実験棟「きぼう」(JEM)の運用を推進	
	宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	23,497	6,676	21,277	▲ 2,220	▲ 9.4%	宇宙ステーション補給機(HTV)の着実な打ち上げ	
	2. 施設整備費	791	5,805	911	120	15.2%	人工衛星やロケット等の開発に必要な試験設備や打ち上げ関連設備等について、老朽化対策を含め、関連施設・設備の維持・更新等を実施	
	3. 全球地球観測システム構築の推進	9,043		8,419	▲ 624	▲ 6.9%		
	温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	699	3,337	1,369	669	95.7%	温室効果ガス(CO2、メタン等)観測のためのGOSAT-2衛星システムと地上システムの開発	
	気候変動観測衛星「GCOM-C」	1,418	3,291	1,971	553	39.0%	多波長光学放射計(SGLI)により、雲・エアロゾル、海色、植生、積雪分布等の連続観測	
	全球降水観測/二周波降水レーダ(GPM/DPR)	727		0	▲ 727	▲ 100.0%	熱帯降雨観測衛星/降雨レーダ(TRMM/PR)後継センサー開発	
	雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)	745		144	▲ 601	▲ 80.7%	気象予報、気候変動予測の精度向上のためのCPR(雲プロファイリングレーダ)と地上システムの開発	
	陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発	3,075		0	▲ 3,075	▲ 100.0%	ALOS-2衛星システムの開発、関連地上設備の整備	レバンド合成開 ロレーダ
	超低高度衛星技術試験機(SLATS)	0	2,135	31	31	-	超低高度軌道からの観測を実証するSLATSと地上システムの開発	
	軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分)(GOSAT、GCOM-W、ALOS、ALOS-2、GPM/DPR)	2,379		4,905	2,526	106.2%	地球観測衛星の運用	
	4. 基幹ロケット高度化の推進	0		30	30	-		
	基幹ロケット(H-IIA)高度化	0	3,710	30	30	-	H-IIAロケット能力向上	
	基幹ロケット(イプシロン)高度化	0	2,200	0	0	-	イプシロンロケット能力向上	

府省名	施策名	平成26年度 当初予算 (①)	平成26年度 補正予算	平成27年度 政府予算案 (②)	対前年度 当初予算 (③=②-①)	対前年度 当初予算比 (③/①)	事業内容	備考
	文部科学省 内局	1,699		1,606	▲ 94	▲ 5.5%		
	1. 宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費	426		530	104	24.4%		
	宇宙航空科学技術推進委託費 等	415		485	70	16.7%	宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための研究開発や人材育成等を促進	
	宇宙状況監視に必要な経費	11		45	34	313.8%	新たなSSAシステム構築の具体化に向けた調査を内閣府、防衛省と共同で実施	
	2. 宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	88		98	10	11.4%	我が国の宇宙外交や国際競争力の強化に貢献するため、国内外の動向の調査分析や各国との各種調整等を実施	
	3. 気候変動適応戦略イニシアチブ	892		941	50	5.6%	観測・予測データの収集からそれらのデータの解析処理を行うための共通プラットフォームの整備・運用を実施。また、具体的適応策の提示までを統合的・一体的に推進することにより、気候変動に伴う環境変化への適応のための技術の社会実装等を促進	
	3. 最先端超小型衛星の研究開発	256		0	▲ 256	▲ 100.0%	大学、中小企業と宇宙新興国の協力で超小型衛星の開発	
	4. 全球地球観測システム構築推進事務	38		37	▲ 1	▲ 2.6%	GEOSS拠出金等	
	農林水産省	151		92	▲ 59	▲ 39.2%		
	農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	25		20	▲ 5	▲ 20.2%		
	被災地域の農作物等復興状況の把握	25		20	▲ 5	▲ 20.2%	東日本大震災被災地域における農作物の作付状況の把握	
	農林水産施策における衛星測位技術の活用	125		71	▲ 54	▲ 43.0%		
	操業管理適正化	54		0	▲ 54	▲ 100.0%	漁船の位置等を衛星船位測定送信機を介して自動的に取得するシステム(VMS)を構築、運用	平成27年予算組替により廃止
	VMSシステムの運用	71		71	0	0.0%	効果的な取締体制構築のため、違反操業を識別するVMSの保守・運用費等	
	経済産業省	2,188		2,944	756	34.6%		
	超高分解能合成開口レーダの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	0		500	500	-	高性能小型衛星(レーダ衛星)を開発	
	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	154		300	146	95.2%	民生部品・民生技術の宇宙転用	
	石油資源遠隔探知技術の研究開発	638		638	0	0.0%	地球観測センサASTER、PALSAR等を用いて石油資源遠隔探知技術の確立、向上	エネルギー需給勘定
	極軌道プラットフォーム搭載用資源探査観測システム/次世代合成開口レーダ等の研究開発	70		70	0	0.0%	地球観測センサASTER、PALSARの校正	エネルギー需給勘定
	ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	669		875	206	30.9%	ハイパースペクトル及びマルチスペクトルセンサの開発	エネルギー需給勘定
	次世代地球観測衛星利用基盤技術の研究開発	408		311	▲ 96	▲ 23.6%	ハイパースペクトルセンサから得られるデータの解析手法、センサの校正技術等の確立	
	太陽光発電無線送受電高効率化の研究開発	250		250	0	0.0%	宇宙太陽光発電システムの無線送受電技術の研究開発	エネルギー需給勘定

府省名	施策名	平成26年度 当初予算 (①)	平成26年度 補正予算	平成27年度 政府予算案 (②)	対前年度 当初予算 (③=②-①)	対前年度 当初予算比 (③/①)	事業内容	備考
国土交通省		9,478	150	9,442	▲ 36	▲ 0.4%		
	人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	833		818	▲ 15	▲ 1.8%	GNSS連続観測システム(GEONET)の整備・運用、電子基準点による地殻変動の監視	
	人工衛星の測量分野への利活用(リモートセンシング分野)	87		85	▲ 2	▲ 1.9%	人工衛星による地殻変動の監視、衛星画像を利用した地図の整備・更新、地球地図データの整備	
	マルチGNSSによる高精度測位技術の開発	114		0	▲ 114	▲ 100.0%	マルチGNSSを統合的に利用して測量等を行う技術の開発及び標準化	
	3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	0		45	45	-	屋内外測位環境の改善とシームレス化及び3次元地図の整備・更新等に係る技術の研究開発	新規
	高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	0		95	95	-	空間情報インフラの整備・活用実証の実施	新規
	静止気象衛星業務等	8,414		8,379	▲ 35	▲ 0.4%	ひまわり6号・7号の運営、ひまわり8号・9号の整備	
	交通分野における高度な制御・管理システムの技術開発	29		0	▲ 29	▲ 100.0%	鉄道・自動車等の輸送モード間で応用・共通化を図るための技術的検討	
	高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発	0		20	20	-	高精度の位置測位技術を活用した車載器を開発し、得られた位置情報をリアルタイムで交通利用者、交通事業者間で共有するための技術的要件の整理	新規
	火山周辺の地殻変動監視の強化(電子基準点の観測強化)	0	150	0	-	-	火山活動に伴う地殻変動の監視を強化するため、火山周辺の地殻変動を観測する「電子基準点」の更新及び強化を実施	
環境省		3,887	400	3,980	93	2.4%		
	いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	2,975		2,796	▲ 179	▲ 6.0%	「いぶき」(GOSAT)シリーズ化	
	いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備	724	400	24	▲ 700	▲ 96.7%	いぶき後継機開発及び並行して実施している地上の観測体制強化等	現行機・2号機のみを計上
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による地球環境観測事業	112		103	▲ 9	▲ 8.3%	「いぶき」現行機による地球環境観測事業(観測データの品質管理を目的とした検証等を実施)	「いぶき」現行機運用終了まで
	二国間クレジット制度(JCM)推進のためのMRV等関連する技術高度化事業	2,139		2,670	531	24.8%	「いぶき」後継機のセンサ・地球観測地上設備等開発	エネルギー需要勘定
	衛星による地球環境観測経費	754		1,023	269	35.7%	GOSATのデータ研究・解析費用	
	アジア地域渡り鳥等国际共同研究推進	9		9	0	2.4%	アホウドリに発信器を装着し、人工衛星を用いたアルゴシステムにより、巣立ち後の行動圏の比較・解明等	
	渡り鳥の飛来経路の解明事業	18		18	0	0.0%	渡り鳥の飛来経路を衛星追跡により解明	
	希少野生動物野生順化特別事業	96		106	10	10.7%	GPSアルゴシステムにより放鳥個体の確実なモニタリングを実施	
	海洋環境モニタリング多様化推進事業	8		2	▲ 7	▲ 79.8%	油流出事故が発生した際の衛星を利用したモニタリングの実施	
	北西太平洋地域海行動計画推進費	27		25	▲ 1	▲ 5.1%	人工衛星を利用した海洋環境モニタリングシステム「環日本海海洋環境ウォッチシステム」の整備・維持運営・改善	



府省名	施策名	平成26年度 当初予算 (①)	平成26年度 補正予算	平成27年度 政府予算案 (②)	対前年度 当初予算 (③=②-①)	対前年度 当初予算比 (③/①)	事業内容	備考
防衛省		27,642	129	29,645	2,003	7.2%		
	衛星通信、商用画像衛星の利用等	27,250	0	29,260	2,010	7.4%		
	Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	20,022	129	21,549	1,527	7.6%	通信衛星利用料及び各種衛星通信器材の整備・維持等	
	商用画像衛星の利用	7,218		7,704	486	6.7%	商用画像衛星利用料	
	気象衛星情報の利用	9		6	▲ 3	▲ 32.6%		
	宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	383		376	▲ 7	▲ 1.8%	衛星を含めた将来装備システムの実験等	
	米空軍宇宙業務課程	9		9	0	0.7%	課程への派遣	

	平成26年度 当初予算		平成27年度 政府予算案	対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比
(参考)弾道ミサイル関連経費(防衛省)及び航空関連経費(文部科学省)含む場合の宇宙関係経費	324,156		305,396	▲ 18,761	▲ 5.8%

(注)四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。